



## 平成26年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラクーン

コード番号 3031 URL <http://www.raccoon.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智

TEL 03-5652-1711

四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年4月期第1四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第1四半期	2,446	3.5	38	14.9	37	16.6	20	△9.9
25年4月期第1四半期	2,364	10.4	33	19.3	32	21.9	22	7.2

(注)包括利益 26年4月期第1四半期 19百万円 (△10.0%) 25年4月期第1四半期 22百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第1四半期	3.75	3.69
25年4月期第1四半期	4.15	4.07

(注)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第1四半期	2,660	1,342	50.4	246.20
25年4月期	2,837	1,344	47.3	246.54

(参考)自己資本 26年4月期第1四半期 1,341百万円 25年4月期 1,343百万円

(注)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。平成25年4月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(注2)現時点において、平成26年4月期末の配当予想は未定であります。

### 3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	10,300 ～10,600	5.2 ～8.3	220 ～230	21.5 ～27.1	210 ～220	19.3 ～25.0	125 ～135	△6.0 ～1.5	22.94 ～24.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期1Q	5,448,600 株	25年4月期	5,448,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期1Q	— 株	25年4月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期1Q	5,448,600 株	25年4月期1Q	5,448,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年の政権交代後に政府が打ち出した大胆な経済政策や、日銀の金融緩和策による期待感から円高や株価の回復が進み、昨年末を底として景気回復傾向が続いてまいりました。しかしながら、長期金利の上昇や急速な株価上昇等に対する警戒感、米国における量的金融緩和の縮小観測の高まりから、5月中旬以降は調整局面となり先行き不透明な状態が続いています。したがって、本格的な景気回復の確認には時間をもう少し要すると思われまます。

このような状況の中、当社グループは「利便性・専門性・先進性を追求した今までにない企業間取引のインフラを創造する」ことをグループビジョンとして掲げ、EC事業と売掛債権保証事業の事業規模の拡大に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,446,302千円（前年同期比3.5%増）となりました。

利益面におきましては、前期に減損計上した「e-CRM」機能に関連し、一部のソフトウェアを今後利用しないこととしたため、該当部分のソフトウェアの耐用年数を短縮し、一時に減価償却費3,022千円を計上いたしました。しかしながら、その他の販売費及び一般管理費は全般的に低水準で推移いたしました。また、当連結累計期間中において繰越欠損金の解消が見込まれ、税効果会計の適用上、税負担が概ね正常化されます。そのため法人税等調整額10,145千円を計上しております。

この結果、営業利益38,630千円（前年同期比14.9%増）、経常利益37,508千円（前年同期比16.6%増）、四半期純利益20,407千円（前年同期比9.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ①EC事業

EC事業におきましては、主力事業である「スーパーデリバリー」において、引き続き質の高い会員小売店及び出展企業を獲得した上で、客単価や稼働率の向上を図り、両者の継続した取引を拡大することで商品売上高を増加させていくことに取り組んでおります。

平成25年2月に開始した「送料おトク便」（詳細につきましては、平成25年2月13日公表の「仕入れサイト「スーパーデリバリー」、「送料おトク便」サービス提供開始のお知らせ」をご参照ください。）につきましては、当第1四半期連結会計期間末で「送料おトク便」対応出展企業（以下、おトク便対応企業）は239社（サービス開始時206社）となりました。おトク便対応企業が増加したことで、複数の出展企業にまたがる小口注文が増加しましたが、おトク便対応企業が取引する会員小売店の客単価は減少しました。但し、おトク便対応企業1社が取引する会員小売店数は増加しており、その結果、おトク便対応企業1社当たりの販売額は増加しました。今後は、おトク便対応企業の増加と、利用する会員小売店のリピート率の向上によりおトク便対応企業1社当たりの販売額（＝「スーパーデリバリー」の商品売上高）を伸ばしていく方針です。

前期にソフトウェアの減損に伴う減損損失を計上した「e-CRM」機能の取り外し作業が平成25年7月末に完了いたしました。「e-CRM」機能は会員小売店の属性ごとにサイトをパーソナライズ化するものでしたが、「スーパーデリバリー」の会員小売店の仕入行動に必ずしもマッチするものではないとの判断から減損しております。取り外し作業の完了により、属性に関わらず、各会員小売店の利用頻度が高い出展企業の商品等の露出が高まる設定になりました。今後は、更に商品が探しやすくなるよう検索機能を改善・強化してまいります。

また、平成25年7月に「スーパーデリバリー」のTOPページをリニューアルいたしました。ログイン前のTOPページに掲載されている商材の写真をふんだんに盛り込み、「スーパーデリバリー」の品揃えが一目で伝わるように変更いたしました。ログイン前ページは、これから会員になる可能性のある小売店の多くがアクセスするページです。したがって、直感的に「欲しい商品がある」ことを印象付けることで、新規会員小売店の獲得数の増加につなげたいと考えております。

この結果、「スーパーデリバリー」の商品売上高は、2,203,142千円（前年同期比2.3%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の経営指標は会員小売店数37,570店舗（前期末比1,030店舗増）、出展企業数952社（前期末比9社減）、商材掲載数383,771点（前期末比14,052点増）となりました。

一方、「Paid」におきましては、引き続き知名度の向上及び加盟企業とPaidメンバーの獲得に注力するとともに、獲得した加盟企業とPaidメンバーのフォローにも努めました。また、企業間取引や卸売サイトの運営会社等と「Paidカート連携サービス」導入の業務提携にも注力し、さらに平成25年7月には、サービスに対する理解促進のためにサイトをリニューアルいたしました。

この結果、EC事業の売上高は2,361,059千円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は20,066千円（前年同期比11.9%減）となりました。

②売掛債権保証事業

売掛債権保証事業におきましては、引き続き営業力強化に取り組むことで保証残高の拡大を図っております。平成25年5月より名古屋支店を開設し、営業活動は東京・大阪・名古屋の3拠点となりました。前期に見直した商品内容の改定と相まって、新規契約件数は順調に増加しております。

この結果、保証残高は4,055,723千円（前期末比9.9%増）となりました。売掛債権保証事業の売上高は117,908千円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は12,014千円（前年同期比45.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より177,072千円減少して2,660,540千円になりました。流動資産は169,249千円減少して2,282,111千円になりました。減少の主な要因は取引の減少により売掛金が188,669千円減少したことによるものです。固定資産は7,823千円減少して378,428千円になりました。減少の主な要因はソフトウェアとソフトウェア仮勘定が合計で13,953千円増加した一方で、通常の減価償却に加え、今後利用しないと判断した一部のソフトウェアの耐用年数変更による減価償却費の計上により、ソフトウェアが18,508千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末より175,210千円減少して1,317,837千円になりました。流動負債は165,317千円減少して1,168,851千円になりました。減少の主な要因は1年内返済予定の長期借入金が返済により18,130千円減少したことと、取引の減少により買掛金が128,022千円減少したことによるものです。固定負債は9,893千円減少して148,986千円になりました。減少の主な要因は長期借入金が返済により9,601千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より1,862千円減少して1,342,702千円になりました。減少の主な要因は四半期純利益20,407千円の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当の支払いにより利益剰余金が21,794千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては概ね予想通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	857,245	803,852
売掛金	1,389,530	1,200,860
求償債権	27,514	29,541
貯蔵品	413	313
繰延税金資産	137,472	128,611
その他	42,095	121,822
貸倒引当金	△2,910	△2,890
流動資産合計	2,451,360	2,282,111
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,989	16,989
減価償却累計額	△8,321	△8,651
建物(純額)	8,667	8,338
車両運搬具	2,189	2,189
減価償却累計額	△1,179	△1,263
車両運搬具(純額)	1,010	926
工具、器具及び備品	19,388	20,896
減価償却累計額	△9,126	△9,593
工具、器具及び備品(純額)	10,262	11,303
有形固定資産合計	19,940	20,567
無形固定資産		
ソフトウェア	144,908	194,152
ソフトウェア仮勘定	65,116	11,316
のれん	73,710	71,280
その他	1,194	1,167
無形固定資産合計	284,930	277,916
投資その他の資産		
投資有価証券	12,153	11,281
敷金及び保証金	40,264	40,582
繰延税金資産	28,880	27,997
その他	83	83
投資その他の資産合計	81,381	79,944
固定資産合計	386,251	378,428
資産合計	2,837,612	2,660,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,009,253	881,231
1年内返済予定の長期借入金	85,744	67,614
未払金	46,076	49,184
未払法人税等	18,916	8,724
保証履行引当金	33,660	36,015
賞与引当金	29,068	16,193
役員賞与引当金	7,000	—
販売促進引当金	17,330	16,970
その他	87,120	92,918
流動負債合計	1,334,168	1,168,851
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	99,000	99,000
長期借入金	52,750	43,149
資産除去債務	1,715	1,721
その他	5,414	5,116
固定負債合計	158,880	148,986
負債合計	1,493,048	1,317,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	744,900	744,900
資本剰余金	132,372	132,372
利益剰余金	465,294	463,907
株主資本合計	1,342,566	1,341,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	253
その他の包括利益累計額合計	724	253
新株予約権	1,273	1,269
純資産合計	1,344,564	1,342,702
負債純資産合計	2,837,612	2,660,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)
売上高	2,364,056	2,446,302
売上原価	1,967,853	2,026,139
売上総利益	396,203	420,162
販売費及び一般管理費	362,584	381,532
営業利益	33,619	38,630
営業外収益		
受取利息及び配当金	190	150
受取手数料	1,356	1,319
その他	316	367
営業外収益合計	1,864	1,836
営業外費用		
支払利息	1,357	583
社債利息	1,866	1,866
その他	101	508
営業外費用合計	3,326	2,958
経常利益	32,157	37,508
特別損失		
本社移転費用	4,067	—
特別損失合計	4,067	—
税金等調整前四半期純利益	28,090	37,508
法人税等	5,451	17,101
少数株主損益調整前四半期純利益	22,638	20,407
四半期純利益	22,638	20,407



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,638	20,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△494	△471
その他の包括利益合計	△494	△471
四半期包括利益	22,144	19,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,144	19,936
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,304,972	59,084	2,364,056	—	2,364,056
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	28,019	28,019	△28,019	—
計	2,304,972	87,103	2,392,075	△28,019	2,364,056
セグメント利益	22,771	8,257	31,028	2,590	33,619

(注) 1. セグメント利益の調整額2,590千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,361,059	85,243	2,446,302	—	2,446,302
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	32,665	32,665	△32,665	—
計	2,361,059	117,908	2,478,967	△32,665	2,446,302
セグメント利益	20,066	12,014	32,080	6,549	38,630

(注) 1. セグメント利益の調整額6,549千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。